

愛南町水産物等販売促進支援業務評価基準（案）

区分	評価項目	評価基準	評価の視点	配点 (満点)
一次審査	業務信頼性	同種業務の実績等から、参加希望者は本業務の実施遂行能力があるか	・過去5年間に元請で本事業と同等の実績があること	30点
	取組体制	配置予定人員等、十分な組織取組体制であるか	・業務を実施するに当たり、本町との打合せ等に的確・迅速に対応でき、円滑かつ確実な業務の遂行ができる体制が整えられているか ・組織全体で取組む体制が確保できているか	10点
		同種の業務実績のある人員を配置しているか	・本町の産物について、知見を有し調査・分析等の業務実績のある人員を配置しているか ・責任者の立場で従事した同種の業務実績があるか	10点

区分	評価項目	評価基準	評価の視点	配点 (満点)
二次審査	業務信頼性	一次審査の結果	・一次審査の結果×0.4	20点
	取組意欲	業務の趣旨を理解し、積極的に取組む姿勢があるか	・プレゼンテーション及びヒアリングに対する説明力、対応力、取組意欲・姿勢等を総合的に評価する	10点
	企画提案内容	課題1 事業推進の考え方(基本コンセプト)について	・企画コンセプトが明確であり、本趣旨を理解しているか	10点
		課題2 マダイの新規市場創出に向けた提案力	・国内(D2C・中食等)の需要予測や競合分析の手法が具体的かつ客観的か。 ・物流費や加工体制等の障壁を特定し、現実的な解決策を示しているか。	10点
		課題3 他魚種(マダイ以外)のブランド化・戦略性	・マサバ、ブリ、カツオ、牡蠣等の資源特性を理解した上で、市場優位性を築くためのブランディング案や販路拡大策が具体的か。 「次なる柱」を選定する際のKPIや評価指標、客観的な選定プロセスが明確で説得力があるか。	10点
		課題4 関係者との合意形成・実行力	・生産者や流通業者といった現場関係者との協議を円滑に進めるための具体的な手法や体制が示されているか。 ・策定するロードマップが、現場が即座に実行可能な具体性を備えているか。	10点
		課題5 営業ツールの作成について	・フェアや営業に必要なツールとなっているか	10点
		課題6 事業実施フロー及びスケジュールについて	・事業内容が具体的で分かりやすく、実現可能なスケジュールとなっているか	10点
	提案価格	十分な業務実施体制を確立した上での価格となっているか	・事業に必要な経費が効果的な実施に配慮した形で計上されているか	10点